

事業所名	グループホーム もろびと ※
日付	平成20年2月12日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員・介護福祉士 介護支援専門員・介護福祉士・認知症ケア専門士
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）※	

1. 評価結果の概要

<p>講評</p> <p>全体を通して（特に良いと思われる点など） 豊かな自然環境に包まれた静かなホームで、敷地も広く、四季の変化に入居者の満足度はひとしれぬものを感じる。春には竹の子狩りが散歩しながら出来、春夏秋冬を直接肌で感じ、落ち着いた温かい管理者と職員が共有しながら、馴染みの関係支援が感じられる。 （やすらぎの毎日を「もろびと」で「楽しいわが家」と呼んでいたような環境づくりを目標） もろびと⇒多くの人、たくさんの人『個性の尊重』『生きがいの追求』</p> <p>入居者・家族のケア、家族の手助けをしていき、入居者が出来るだけ住みやすく過ごされ、入居者家族がほっとした瞬間の表情・姿を感じた喜びは大きいと代表者は実感をお話され、自分の身内意識で関わる心掛支援を目視される姿勢が窺われました。</p> <p>地域交流も夏祭り・秋祭り行事等、地元の農家の皆様と密着度が高く1日3回の食事作り、季節の旬の調理が自然に感じられる盛り付けである。（例として糖尿病患者さんに姿、容量に気配り「マンナンヒカリ」調理）（野菜は安く、外回りには広い畑が有り大根が植えてありました。）</p> <p>半数以上、生活世帯の入居者がいらっしゃいます。その人その人の人格を尊重しながら平等支援体制がとられています。</p> <p>清楚な態度で大変前向きであり、あたたかい雰囲気職場が、管理者をはじめ、職員活動動作の様子からうかがえました。</p>
<p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>地域交流を積極的に取り組んでおられますが、職員統一を図り地域推進会議をサービス向上に活かして欲しい。</p>

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		○
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か 認知症を発生しても「それまでの生活が、出きるだけ出来るような」支援に取り組んで、家庭的な雰囲気の中で、「職員」と「入居者」という関わりではなく、「自分の身内意識で関わり」を持つ様に心掛け、1人1人の高齢者が持っている能力を引き出しながら、楽しく毎日過ごしていただけるように1日1日心掛け、人間対人間の対応・あたりまえのことを確実に支援できるよう目視している。 （グループホーム入居者さんの介護度が大きく変えない様子が窺がえました。）		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 居場所は自由に、安心して休養していただける場づくりに取り組んでいる。 居室で過ごしていただいても、ご本人が一番落ち着くところで、日常生活が過ごせるように介護職員は優しく声掛け支援に心がけている。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議		○
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		○
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 本人が今まで人生を過ごされた日常生活に合った支援を何時までも、自分の身内の意識で経験を尊重した支援。 プライバシーについて個室にて、本人のプライドに関わることは居室にて話し合いをさせて頂き人格に傷つかないよう気配りに、気配りした取り組み。 個人情報保護の為に家族事情を配慮しながら生活歴他考慮し援助サービスを平等に取り組んでいる。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策		○
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組		○
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 自分が高齢者になった時受けてみたい介護を念頭に、日常生活の連続の中でいかに快適に過ごしていただけるか、日々課題を提起して、問題意識を持ち、介護職員が前向きな姿勢で外部研修に参加し、また介護知識、介護技術を取得し、自己研鑽を重ね、全職員の質の向上に努力し、入居者の方々が日々楽しく過ごして頂けるように努力しています。		